

メカとエレクトロニクス 2

工学部 機械知能工学科

熊谷 正朗

kumagai@mail.tohoku-gakuin.ac.jp

東北学院大学工学部
ロボット開発工学研究室 RDE

今回の到達目標

○メカトロシステムの実体化・現実化

- ◇この科目の概要と方針
- ◇メカの部分と同様に、**原理に基づく計算**があることを理解できる。
- ◇メカトロシステムにおける**具体的な数値の目安**を理解できる。

○プテテスト(復習確認)

科目の到達目標 (総合@シラバス)

○到達目標＝評価の基準

- ◇メカトロニクスで用いる最低限の**センサ回路の構成を検討**できる
- ◇**モータ類の制御回路**の構成を理解し、その**効率や損失**について考慮することができる
- ◇**信号のデジタルによる扱い**の基礎を理解し、コンピュータへの**取り込み手段**を検討できる
→全般に**具体的な数値や設計**も扱う
※工学総合演習Ⅱとも関連

評価基準

○100点の構成

- ◇50点:定期試験
 - ・計算問題と論述問題を予定
- ◇50点:平常点
 - ・20点:講義中のプテテスト
 - ・20点:レポート(主に調査系宿題)
 - ・10点:講義のノートのチェック
- ◇+α

評価基準:講義のノートのチェック

○講義への取り組みを確認

↓単なる板書の
写しにあらず

- ◇講義中にちゃんとノートをとっているか
 - ・10点:毎回十分にノートを取れている
 - ・0点:さっぱりノートをとっていない
 - ・1月上旬に実施の予定
- ◇そのためのノートの形式
 - ・明確に**何回目のノート**が分かるように
 - ・ノートは「まとめ」ではない。
 - ・不正行為発覚時は定期試験**受験拒否**

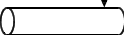
受講上の注意点:単位の実質化

○復習&予習の明確な証拠の提出

- ◇具体的な内容
 - 復習:毎回、授業中に出てきた図のなかから**重要なものを3点**を選び、その図を**綺麗に書く**とともに、**説明をつける**。(90分)
 - 予習:シラバスに応じた事前確認など
- ◇提出方法
 - ・専用紙で、翌講義の**開始時刻まで**
 - ・提出は**任意(強く推奨)** 提出の**特典あり**

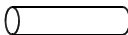
機械工学における 式 と 選択 と 数値

○設計する＝方式と数値(と配置)を決める

- ◇目的の分解・理解、**適用する原理の選定**
 - ・例:軸の太さを決める → 材力、強度 ↓
- ◇条件を明確にする 
 - ・例:荷重、他の条件による太さ上限
- ◇方式検討と選択
 - ・例:軸の構造、軸の材質
- ◇数値の決定
 - ・使う式 → 計算 → 評価 → 決定

機械工学における 式 と 選択 と 数値

○設計する＝方式と数値を決める

- ◇重要ポイント
 - ・適用する**式の選択** (←知識)
 - ・計算した**数値の妥当性** / 常識との適合
- ◇数値の妥当性 
 - ・計算しておわり、ではない。
 - ・その**数値をもとに実体化**できるかどうか。
→妥当性の判断は最終的には経験から

メカトロにおける 式 と 選択 と 数値

○機械の数値＋電気の数値

- ◇機械関係:略
- ◇電気関係の例
 - ・各部の信号の電圧変化(振幅) ←仕様
 - ・どの周波数まで扱うか(帯域) ←仕様
 - ・モータに流す電流、必要な電圧
←モータの特性式、必要な電力
 - ・増幅回路の定数決定
←回路ごとの特性式、オームの法則

メカトロにおける 式 と 選択 と 数値

○機械と電気の接点:電力＝仕事率、熱

- ◇共通の単位:[W][J]
- ◇設計におけるつながり
 - ・機械的に必要な動力(仕事率)[W]
⇔モータ等の効率>⇔ 必要な電力[W]
 - ・消費電力[W] ⇒ 時間あたりの熱[W=J/s]

メカトロニクスの数値

○「妥当な」数値感覚

◇電圧

- 歪みゲージ→ ∼ 1[mV] 微弱、扱い注意、要ノイズ対策
 - ありがち→ ∼100[mV] 小さい、扱い注意、センサ信号
±の場合→
 - 3.3や5が増→ ∼ 10[V] 電子回路で一般的
 - 電流次第で→ ∼2,30[V] エネルギーとしての電気
わりと危険
 - 死の危険→ ∼ 200[V] 同上、感電注意、大事故注意
 - ・ ∼ 同上、プロ以外近づくな
- ※静電気など、低エネルギー大電圧もある

メカトロニクスの数値

○「妥当な」数値感覚

◇電流

- ありがち→ ∼1[μA] 微弱、扱いに要注意、ノイズ対策
※1[V]で1[MΩ]だと1[μA]
- センサ系→ ∼1[mA] 小さい、センサ回路などは普通
回路の電流
- 信号と→ ∼100[mA] 信号系回路の消費電流、LED
エネの境界
- ・ ∼ 1[A] 小型のアクチュエータ、電源等
- 配線の太さが
要チェック→ ∼ 10[A] 並み～大きめのアクチュエータ
- 電線の発熱→ 10[A]～ 気を使うべき大電流

メカトロニクスの数値

○「妥当な」数値感覚

※電波の出力でも
[mW]など見かける

◇電力／動力(エネルギー)

- 省電力機器→ ∼ [mW] 気にしない(計算もしない)
は気にする
 - 5V×0.2A=1W ∼ 1[W] 処理系の回路の消費電力
 - ・ ∼ 10[W] 小型のモータ類
 - 10V,10A=100W
25V,4A=100W
50V,2A=100W ∼100[W] 手頃な大きめのモータ類
 - ※熊研2脚:定格80[W]、トレーラ:110[W]
 - 電圧か電流が
危険な領域に ∼ 100[W] ∼ 大型、要さまざまな配慮
- ※家庭の電化製品は何[W]?

メカトロニクスの数値

○「妥当な」数値感覚

◇抵抗

- 10A流れると→ ∼ 10[mΩ] 配線の抵抗:大電流時に重要
1Wの消費
- スイッチの抵抗、MOSFETのオン抵抗
- 電流→電圧 ∼100[mΩ] 電流計測用抵抗
100mΩ:
1A→0.1V
- ・ ∼100[Ω] メカトロ実用上あまりみられず
- ありがち: 330Ω, 470Ω ∼ 1[kΩ] LEDの電流を制限する抵抗
- 10k～100kが主 ∼ 1[MΩ] センサ回路などでよく使われる
- 一般的な回路で
電流小さすぎ ∼ 入力抵抗、絶縁抵抗(部品として使わず)

メカトロニクスの数値

○「妥当な」数値感覚

◇コンデンサ

- ・[pF]:センサ回路 [μF]:電源用 [F]:蓄電用

◇コイル

- ・[mH]近辺 モータ等のインダクタンス

◇熱／消費電力 1[kW]

- ・ストーブ、電熱器、オーブン 300[W], 600[W]
- ・電子レンジ 1[kW] ∼ 掃除機 数百[W]
- ・ハンダごて 20[W]前後 人間 100[W]

この科目の今後の方向性

○メカトロの主要回路要素と周辺の理解

- ◇メカ設計は他の科目で
- ◇センサ周りの回路の理解
 - ・処理そのものへの理解
 - ・回路の読み方、理解の仕方
- ◇モータ制御回路への理解
 - ・エネルギーとしての電力、メカトロの中核
- ◇アナログとデジタル(AD変換)
 - ・センサ→コンピュータまで